

あんしんネット少額短期株式会社の 現状 2011

あんしんネット少額短期株式会社

〒330-0071 埼玉県さいたま市浦和区上木崎二丁目 14 番 24 号

TEL 048-826-2090 fax048-826-2078

目 次

I. 会社の概要および組織

1. 会社の特色
2. 会社の沿革
3. 経営の組織
4. 株式の状況
5. 役員の状況
6. 使用人の状況

II. 主要な業務の状況

1. 取扱商品
2. 募集体制

III. 主要な業務に関する事項

1. 平成 22 年度における業務の概況
 - (1) 主要な事業内容
 - (2) 事業の経過および成果
 - (3) 対処すべき課題
 - (4) 財産および損益の状況
2. 直近の 3 事業年度における主要な業務の状況を示す指標
3. 直近の 2 事業年度における業務の状況
 - (1) 主要な業務を示す指標等
 - (2) 保険契約に関する指標等
 - (3) 経理に関する指標等
 - (4) 資産運用に関する指標等
4. 責任準備金の残高の内訳

IV. 運営に関する事項

1. リスク管理の体制
2. 法令遵守の体制
3. 個人情報取り扱いについて

V. 財産の状況

1. 計算書類
 - (1) 貸借対照表
 - (2) 損益計算書
 - (3) キャッシュフロー計算書
 - (4) 株主資本等変動計算書
2. 保険金の支払い能力の充実の状況（ソルベンシー・マージン比率）

I. 会社の概要および組織

1. 会社の特色

当社は、冠婚葬祭互助会業並びにその関連事業を行うアルファクラブグループの主要企業を株主とし、平成 20 年に、アルファクラブグループの冠婚葬祭互助会の会員を対象とした「あんしんネット共済会」の共済契約の受け皿並びに冠婚葬祭をご利用のお客様に少額短期保険により経済的側面からバックアップすることを目的に、設立されました。

平成 21 年 3 月に関東財務局長の少額短期保険業者として登録を完了し、同年 3 月 30 日より少額短期保険業者としての営業を開始いたしました。

2. 会社の沿革

平成 20 年 10 月 23 日 「あんしんネット少額短期株式会社」設立

平成 21 年 3 月 24 日 関東財務局（少額短期保険）第 52 号登録

平成 21 年 3 月 26 日 「あんしんネット共済会（埼玉）・（郡山）・（福島）」の共済契約の「業務及び財産の管理」の認可取得

平成 21 年 3 月 30 日 少額短期保険業の業務開始

「介護一時金付定期保険」「入院一時金付定期保険」発売

平成 22 年 3 月 29 日 顧客ニーズにマッチした保険金建「定期保険」の承認を得て、5 月より販売開始いたしました。

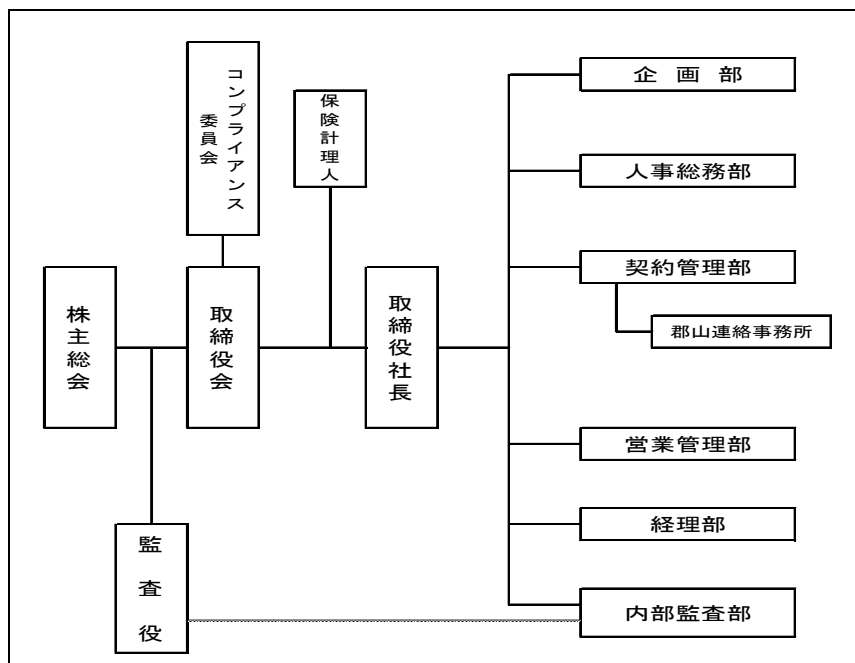
平成 23 年 4 月 18 日 本店を移転いたしました。

3. 経営の組織

(1) 所在地

本 社 〒330-0071 埼玉県さいたま市浦和区上木崎二丁目 14 番 24 号

(2) 組織図（平成 23 年 7 月 1 日）



4. 株式の状況

(1) 株式数

- ・発行可能株式総数 8,000 株
- ・発行済株式の総数 2,000 株

(2) 株主数

平成 22 年度末株主数 6 名

(3) 株主（平成 22 年度末現在）

株主の氏名又は名称	当社への出資状況	
	持株数等	持株比率
アルファクラブ株式会社	900 株	45%
アルファクラブ武蔵野株式会社	700 株	35%
アルファクラブ栃木株式会社	100 株	5%
株式会社アドスタッフ	100 株	5%
リアルクリーン株式会社	100 株	5%
株式会社参友	100 株	5%

5. 役員の状況（平成 22 年度末現在）

氏名	地位	重要な兼職
金井 勉	代表取締役	なし
神田 成二	取締役	アルファクラブ武蔵野(株) 代表取締役 アルファクラブ(株) 代表取締役 アルファクラブ栃木(株) 代表取締役 アルファニューライフ(株) 代表取締役 アルファ交通(株) 代表取締役 むさしのコンサルティング(株) 代表取締役 (株)ライフアンサーズ 取締役 (株)サイカンシステム 取締役 (株)盛岡市民斎場 代表取締役
和田 浩明	取締役	アルファクラブ武蔵野(株) 専務取締役 (株)サイカンシステム 専務取締役
白井 太郎	監査役	税理士法人白井会計事務所 社員

6. 使用人の状況

区分	前期末	当期末	当期増減 (△)	当期末現在		
				平均年齢	平均勤続 年数	平均給与 月額
内務職員	4名	5名	1名	50歳	1年5ヵ月	291千円
営業職員	—	—	—	—	—	—

II. 主要な業務の内容

1. 取扱商品

(イ) 1年更新型定期保険（保険金建）

(1) 特徴

- ①お葬儀に付帯する様々な費用をサポートするため、30万円～300万円の7つの死亡保障プランをご用意いたしました。
- ②簡略な健康告知事項に該当しなければ、40歳から84歳の方まで加入できます。
- ③更新は、最長94歳まで可能。更新時の健康告知は不要です。
- ④保障額は一定、保険料は更新時の満年齢によります。
- ⑤男女別、各歳保険料のため、特に女性の方には低廉な保険料となっています。

(2) 保険期間／加入年齢／払込方法／収納方法／月払保険料

- ①保険期間：1年（保険料払込期間と同一）
- ②加入年齢：満40歳以上85歳未満
- ③払込方法：月払（口座振替）

(ロ) 介護一時金付定期保険（無配当1年更新型）

(1) 特徴

- ①リーズナブルな保険料で死亡保障を提供し、疾病または不慮の事故で死亡した場合に死亡保険金または傷害死亡保険金をお支払します。
- ②また公的介護認定を受けた場合に介護一時金をお支払する商品です。
- ③傷害死亡の場合は、死亡保険金と合わせて傷害死亡保険金をお支払します。

(2) 保険期間／加入年齢／払込方法／収納方法／月払保険料

- ①保険期間：1年（保険料払込期間と同一）
- ②加入年齢：満40歳以上85歳未満
- ③払込方法：月払（口座振替）

(ハ) 入院一時金付定期保険（無配当 1 年更新型）

(1) 特徴

- ①リーズナブルな保険料で死亡保障を提供し、疾病または不慮の事故で死亡した場合に死亡保険金または傷害死亡保険金をお支払します。
- ②また継続 8 日間（7 泊 8 日）以上の入院をした場合に入院一時金をお支払する商品です。
- ③傷害死亡の場合は、死亡保険金と合わせて傷害死亡保険金をお支払します。

(2) 保険期間／加入年齢／払込方法／収納方法／月払保険料

- ①保険期間：1 年（保険料払込期間と同一）
- ②加入年齢：満 15 歳以上 40 歳未満
- ③払込方法：月払（口座振替）

2. 募集体制

株主企業「冠婚葬祭互助会運営会社」法人代理店および互助会会員募集を主たる目的とした株主企業の委託先の個人代理店を募集代理店として少額短期保険の販売を展開しております。

平成 23 年 3 月末現在、募集代理店数 68 店 募集人数 959 名

Ⅲ. 主要な業務に関する事項

1. 平成 22 年度における業務の概況

(1) 主要な事業内容

当社は、お葬儀に付帯する様々な費用をサポートする死亡保障の「1 年更新型定期保険」ならびに普通死亡および傷害死亡を保障し、加入年齢 40 歳未満の方には疾病または傷害入院による継続 8 日以上入院に対して入院一時金をお支払する「入院一時金付定期保険」および加入年齢 40 歳以上 85 歳未満の方には、公的介護認定を受けた場合に介護一時金をお支払する「介護一時金付定期保険」の 3 種類の保険商品を代理店を通じて販売いたしております。

また、「あんしんネット共済会」の共済契約の「業務及び財産の管理の委託」について、平成 21 年 3 月 26 日認可取得いたしましたので、共済契約の管理業務を行っております。

(2) 事業の経過および成果

平成 22 年度は、少額短期保険業者として登録完了後、第 2 年度目となりましたが各代理店のご協力のもと募集人体制の確保を図るとともに、平成 22 年 3 月に承認された新商品「定期保険」を中心に本格的な営業活動を展開いたしました。

おかげさまで、当期の業績については、新契約件数 4,000 件、年換算保険料 99 百万円の成果を挙げることができました。

しかしながら、事業収支においては、本格的な営業活動の初年度であり、また月払契約の取扱いのみという関係から収入保険料が 45 百万円に留まり、経常収益に対し、保険金支払 10 百万円を含む経常費用が上回り、15 百万円の経常損失という結果となりました。

(3) 対処すべき課題

今後取り組むべき課題として、単年度黒字化を最優先課題とし、経常収益の拡大すなわち量的確保の観点から、「定期保険」を中心とした新契約件数の更なる獲得に取り組むとともに営業費及び一般管理費の抑制に取り組んで参ります。

(4) 財産及び損益の状況の推移

(単位：千円)

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度 (当期)
収入保険料	—	53	45,381
（個人保険）	—	53	45,381
（その他の保険）	—	—	—
正味収入保険料	—	53	45,381
個人保険	—	53	45,381
その他の保険	—	—	—
利息及び配当金収入	20	34	19
経常利益（又は経常損失）	△1,557	7,365	△15,073
契約者配当準備金繰入額	—	—	—
当期純利益（又は当期純損失）	△1,635	5,178	△15,786
総資産	100,048	107,632	106,825
1 株当たり当期純利益（又は当期純損失）	△817 円 82 銭	2,589 円 05 銭	△7,893 円 26 銭

※当社の業務開始日は平成 21 年 3 月 30 日です。

2. 直近の3事業年度における主要な事業の状況を示す指標

(単位：千円)

(区分)	平成20年度	平成21年度	平成22年度
経常収益	20	33,134	78,455
経常利益	△1,557	7,365	△15,073
当期純利益(純損益)	△1,635	5,178	△15,786
資本金の額	100,000	100,000	100,000
発行済株式の総数	2,000	2,000	2,000
純資産額	98,364	103,542	87,755
総資産額	100,048	107,632	106,825
責任準備金残高	—	20	7,804
有価証券残高	—	—	—
ソルベンシー・マージン比率	21,218.2%	28,883.2%	6,230.8%
配当性向	—	—	—
従業員数	4	4	5
正味収入保険料の額	—	53	45,381

※当社の業務開始日は平成21年3月30日です。

3. 直近の2事業年度における業務の状況

(1) 主要な業務の状況を示す指標等

① 正味収入保険料 (単位：千円)

区 分	平成21年度	平成22年度
生命保険	53	45,381
死亡保険	53	45,381
その他	—	—
合 計	53	45,381

* 正味収入保険料とは、(保険料－解約返戻金－その他返戻金)－(再保険料－再保険返戻金)

② 元受正味保険料 (単位：千円)

区 分	平成21年度	平成22年度
生命保険	53	45,381
死亡保険	53	45,381
その他	—	—
合 計	53	45,381

* 元受正味収入保険料とは、(保険料－解約返戻金等)

- ③ 支払再保険料
該当事項はありません。

- ④ 保険引受利益の額 (単位：千円)

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度
生命保険	7,331	△15,092
死亡保険	7,331	△15,092
その他	—	—
合 計	7,331	△15,092

* 保険引受利益の額は「保険引受収益」から「保険の引受費用」保険引受けに係る
営業費及び一般管理費を減じ「その他の収支」を加えて算出。

- ⑤ 正味支払保険金

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度
生命保険	—	10,300
死亡保険	—	10,300
その他	—	—
合 計	—	10,300

- ⑥ 元受正味支払保険金

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度
生命保険	—	10,300
死亡保険	—	10,300
その他	—	—
合 計	—	10,300

- ⑦ 回収再保険金
該当事項はありません。

- (2) 保険契約に関する事項

- ① 契約者配当金の額
該当事項はありません。

② 正味損害率、正味事業費率およびその合算率

区分	平成 21 年度			平成 22 年度		
	正味 損害率	正味 事業費率	合算率	正味 損害率	正味 事業費率	合算率
生命保険	—	47,771.3%	47,771.3%	22.7%	156.6%	179.3%
死亡保険	—	47,771.3%	47,771.3%	22.7%	156.6%	179.3%
その他	—	—	—	—	—	—
合計	—	47,771.3%	47,771.3%	22.7%	156.6%	179.3%

* 正味損害率は、(正味支払保険金/正味収入保険料) × 100

* 正味事業費率は、(正味事業費/正味収入保険料) × 100

* 合算率は、(正味損害率+正味事業費率)

③ 発生損害率、事業費率およびその合算率

区分	平成 21 年度			平成 22 年度		
	発生 損害率	発生 事業費率	合算率	発生 損害率	発生 事業費率	合算率
生命保険	—	47,771.3%	47,771.3%	36.5%	156.6%	193.1%
死亡保険	—	47,771.3%	47,771.3%	36.5%	156.6%	193.1%
その他	—	—	—	—	—	—
合計	—	47,771.3%	47,771.3%	36.5%	156.6%	193.1%

* 発生損害率は、(保険金+給付金) / (保険料-解約返戻金-その他返戻金) × 100

* 発生事業費率は、(事業費 / (保険料-解約返戻金-その他返戻金)) × 100

* 合算率は、(発生損害率+発生事業費率)

④ 再保険関係に関する諸数値

当社は、再保険取引を行っていないため、該当事項はありません。

(3) 経理に関する指標等

① 支払備金

(単位：千円)

区分	平成 21 年度			平成 22 年度		
	普通 支払備金	I B N R 支払備金	合計	普通 支払備金	I B N R 支払備金	合計
生命保険	—	—	—	4,400	—	4,400
死亡保険	—	—	—	4,400	—	4,400
その他	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	4,400	—	4,400

② 責任準備金

(単位：千円)

区 分	平成 21 年度				平成 22 年度			
	普通責任 準備金	異常危険 準備金	契約者配 当準備金	合計	普通責任 準備金	異常危険 準備金	契約者配 当準備金	合計
生命保険	9	11	—	20	5,083	2,721	—	7,804
死亡保険	9	11	—	20	5,083	2,721	—	7,804
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	9	11	—	20	5,083	2,721	—	7,804

③ 利益準備金及び任意積立金の区分ごとの残高

該当事項はありません。

④ 損害率の上昇に対する経常利益又は経常損失の額の変動

損害率の上昇仮定	発生損害率が 1% 上昇すると仮定します。	
計算方法	増加する発生損害額 = 既経過保険料の 1%	
	経常損失の増加額 = 増加する発生損害額	
	平成 21 年度	平成 22 年度
経常損失の増加額	—	403 千円

(4) 資産運用に関する指標等

① 資産運用の概況

(単位：千円)

区分	平成 21 年度		平成 22 年度	
	金額	構成比	金額	構成比
預貯金	70,267	65.3%	67,004	62.7%
金銭信託	—	—	—	—
有価証券	—	—	—	—
運用資産計	70,267	65.3%	67,004	62.7%
総資産	107,632	100.0%	106,825	100.0%

② 利息配当収入の額および運用利回り

(単位：千円)

区分	平成 21 年度	平成 22 年度
	金額	金額
預貯金	34	19
金銭信託	—	—
有価証券	—	—
合計	34	19

③ 保有有価証券の種類別残高および利回り等

該当事項はありません。

④ 価格変動準備金

該当事項はありません。

4. 責任準備金の残高の内訳

(単位：千円)

種目	未経過 保険料 (A)	危険保険料 積み増し (B)	収支残 (C)	当期末 普通責任準備金
死亡保険	5,083	—	△33,645	5,083
その他	—	—	—	—
合計	5,083	—	△33,645	5,083

(注) 少額短期保険業につき、未経過保険料 (A) と危険保険料積み増し (B) の合計額と、収支残 (C) のいずれか大きい金額を当期末普通責任準備金として計上しております。

種目	普通責任 準備金	異常危険 準備金	契約者配当 準備金	当期末 責任準備金
死亡保険	5,083	2,721	—	7,804
その他	—	—	—	—
合計	5,083	2,721	—	7,804

IV. 運営に関する事項

1. リスク管理の体制

当社は、管理すべきリスクを保険引受リスク、資産運用リスク、流動性リスク、オペレーションリスク（事務リスク、システムリスク、リーガルリスク、人事リスク、災害リスク、風評リスク、経営リスク）と捉え担当部門におけるリスク管理状況を分析・把握・評価し業務部門に対する牽制・指導を行います。

2. 法令遵守の体制

当社は、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、コンプライアンスの推進を目的とした「コンプライアンス委員会」を設置いたしました。

コンプライアンス・プログラムの策定、コンプライアンス・マニュアルを作成し、役員を初め、従業員・代理店および募集人に対して、法令等遵守の指導・教育を行います。

3. 個人情報の取り扱いについて

当社は、「お客様第一」を常に行動の原点とし、保険業の社会・公共的使命を果たし、お客様や社会から信頼いただける保険会社を目指すとともに、個人情報保護の重要性に鑑み、「個人情報の取り扱いに関する方針」を定め社会からの信頼をより向上させるべく、個人情報保護に関する法律、その他の関連法令、ガイドライン、一般社団法人日本少額短期協会の指針等を遵守いたします。

(1) 個人情報の取得・収集について

- ① 当社は、適法かつ公正な手段によって、個人情報の収集を行います。
- ② 特に機微（センシティブ）情報を含む個人情報は、主に保険の契約申込書、保険金・一時金請求書等により取得・収集します。また、新聞記事等の公示情報も取得・収集させていただくことがあります。

(2) 個人情報の利用と利用目的について

- ① お預かりした個人情報は、利用目的の範囲内で、業務遂行上必要な場合において利用します。
- ② また、ご契約者、被保険者、保険金・一時金ご請求者からお預かりした個人情報は、以下の目的のために利用します。その他の目的に利用することはありません。
 - ・適切な保険のお引受け
 - ・保険契約の維持・管理
 - ・保険事故が発生した場合の円滑かつ適切な保険金・一時金のお支払
 - ・当社保険商品・サービスに関する情報のご案内とご提供
 - ・市場調査および商品・サービスの開発・研究
 - ・当社グループ会社および提携先企業の商品・サービスに関するご案内
- ③ これらの利用目的については、当社ホームページによる掲載等の方法により公表するほか、ご契約者様から書面等により個人情報を収集する場合は、上記利用目的をご契約者様ご本人に明示いたします。

なお、利用目的を変更する場合は、その内容を原則として書面等によりご本人に通知し、また、当社ホームページにより公表します。

(3) 個人データの管理について

- ① 取り扱う個人データの紛失、漏えい、毀損の防止、その他の個人データの安全管理のために安全管理に関する基本方針、個人情報保護に係る規定等の整備等を行うとともに、十分なセキュリティー対策を講じ、正確性を確保するために適切な措置を講じます。
- ② 個人データ管理責任者を任命し、個人情報の安全・適正な管理を実施します。
- ③ 個人データの持ち出し、または外部へ移送・送信する際には相当の注意を払います。
- ④ 役員、社員、および代理店を含めた委託先に対して、個人情報の保護および適正な管理方法等について継続的に研修を実施し、日常業務における個人情報の適正な取り扱いを

徹底します。

- ⑤ 定期的に監査を実施し、本方針を実践・遵守するとともに個人情報保護の継続的改善に取り組んでまいります。
- ⑥ 外部に個人データの取り扱いを委託する場合には、あらかじめ委託先の情報管理体制を確認し、委託後の業務遂行状況を監視するなど委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

(4) 個人データの第三者提供について

- ① 個人データを第三者に提供する際は、原則として、事前にご本人の同意をいただきます。
ただし、次の場合には、ご本人の同意を得ないで個人データを第三者に提供する場合があります。
 - ・個人情報に関する法律でご本人の同意を得ないで個人データを第三者に提供することが認められている場合
 - ・再保険の手配等、当社の業務遂行上必要な範囲で提供する場合
 - ・当社の業務遂行上必要な範囲内で、保険代理店を含む委託先に提供する場合
- ② また、個人データを第三者に提供する場合には、厳正な調査を行ったうえ提供するとともに、秘密を保持させるために、適正な監督を行います。

(5) 個人情報保護規定等の整備・実施・維持・改善

当社は、本方針を実行するため、個人情報保護に係る規定を定め、組織体制を確立し、徹底した教育、定期的な監査および確認を行い、継続的に改善いたします。

V. 財産の状況

1. 計算書類

1. 貸借対照表

(単位：千円)

科目	平成 21年度	平成 22年度	科目	平成 21年度	平成 22年度
(資産の部)			(負債の部)		
現金及び預貯金	70,354	67,043	保険契約準備金	20	12,204
現金	87	38	支払備金	—	4,400
預貯金	70,267	67,004	責任準備金	20	7,804
有価証券	—	—	普通責任準備金	9	5,083
国債	—	—	異常危険準備金	11	2,721
地方債	—	—	契約者配当準備金	—	—
その他の証券	—	—	代理店貸	—	—
有形固定資産	2,455	1,296	再保険貸	—	—
土地	—	—	短期社債	—	—
建物	—	—	社債	—	—
動産	—	—	新株予約権付社債	—	—
建設仮勘定	—	—	その他負債	4,069	6,864
その他の有形固定資産	2,455	1,296	借入金	—	—
無形固定資産	19,433	15,033	未払法人税等	2,180	414
ソフトウェア	19,433	15,033	未払金	1,889	5,016
のれん	—	—	未払費用	—	1,250
その他の無形固定資産	—	—	前受収益	—	—
代理店貸	—	—	預り金	—	183
再保険貸	—	—	仮受金	—	—
その他の資産	5,389	13,452	その他の負債	—	—
未収金	2,893	10,391	退職給付引当金	—	—
未収保険料	—	—	価格変動準備金	—	—
前払費用	—	—	繰延税金負債	—	—
未収収益	—	—	負ののれん	—	—
仮払金	—	—	負債の部 合計	4,090	19,069
その他の資産	2,496	3,060	(純資産の部)		
繰延税金資産	—	—	資本金	100,000	100,000
供託金	10,000	10,000	新株式申込証拠金	—	—
			資本剰余金	—	—
			資本準備金	—	—
			その他資本剰余金	—	—
			利益剰余金	3,542	△12,244
			利益準備金	—	—
			その他利益剰余金	3,542	△12,244
			繰越利益剰余金	3,542	△12,244
			自己株式	—	—
			自己株式申込証拠金	—	—
			株主資本合計	103,542	87,755
			その他有価証券評価差	—	—
			額金	—	—
			繰越ヘッジ損益	—	—
			土地再評価差額金	—	—
			評価・換算差額等合計	—	—
			新株予約権	—	—
			純資産の部 合計	103,542	87,755
資産の部合計	107,632	106,825	負債及び純資産の部	107,632	106,825
			合計		

2. 損益計算書

(単位：千円)

科 目	平成 21 年度	平成 22 年度
経常収益	33,134	78,455
保険料等収入	53	45,381
保険料	53	45,381
再保険収入	—	—
回収再保険金	—	—
再保険手数料	—	—
再保険返戻金	—	—
資産運用収益	34	19
利息及び配当金等収入	34	19
その他運用収益	—	—
その他経常収益	33,046	33,054
経常費用	25,769	93,528
保険金等支払金	—	10,300
保険金等	—	10,300
解約返戻金等	—	—
契約者配当金	—	—
再保険料	—	—
責任準備金等繰入額	20	12,183
支払準備金繰入額	—	4,400
責任準備金繰入額	20	7,783
資産運用費用	—	—
事業費	25,748	71,044
営業費及び一般管理費	21,899	64,326
税金	39	1,159
減価償却費	3,809	5,559
退職給付引当金繰入額	—	—
その他の経常費用	—	—
経常利益（又は経常損失）	7,365	△15,073
特別利益	—	—
特別損失	—	—
価格変動準備金繰入額	—	—
その他特別損失	—	—
契約者配当準備金繰入額	—	—
税引前当期純利益（又は税引き前 当期純損失）	7,365	△15,073
法人税及び住民税	2,186	713
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	2,186	713
当期純利益（又は当期純損失）	5,178	△15,786

3. キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	平成 21 年度	平成 22 年度
営業活動によるキャッシュ・フロー		
保険料の収入	53	45,381
再保険収入	—	—
保険金等支払による支出	—	△10,300
解約返戻金等支払による支出	—	—
再保険料支払による支出	—	—
事業費の支出	△21,938	△65,485
その他	27,968	29,553
小 計	6,083	△851
利息及び配当金等の受領額	34	19
利息の支払額	—	—
契約者配当金の支払	—	—
その他	—	—
法人税等の支払額	△80	△2,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,037	△3,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額 (△は増加)	—	—
有価証券の取得による支出	—	—
有価証券の売却・償還による収入	—	—
有形・固定資産の取得による支出	△25,697	—
供託金の所要額支出 (増加)	—	—
その他	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,697	—
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	—	—
借入金の返済による支出	—	—
社債の発行による収入	—	—
社債の償還による支出	—	—
株式の発行による収入	—	—
自己株式の取得による支出	—	—
配当金の支払額	—	—
その他	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,661	△3,311
現金及び現金同等物期首残高	90,016	70,354
現金及び現金同等物期末残高	70,354	67,043

4. 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科目	平成 21 年度	平成 22 年度
株主資本		
資本金		
前期末残高	100,000	100,000
当期変動額		
新株の発行	—	—
当期変動額合計	—	—
当期末残高	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	—	—
当期変動額	—	—
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
資本剰余金合計		
前期末残高	—	—
当期変動額	—	—
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	—	—
当期変動額	—	—
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
繰越利益剰余金		
前期末残高	△1,635	3,542
当期変動額		
当期純利益	5,178	△15,786
当期変動額合計	5,178	△15,786
当期末残高	3,542	△12,244
利益剰余金合計		
前期末残高	△1,635	3,542
当期変動額		
当期純利益	5,178	△15,786
当期変動額合計	5,178	△15,786
当期末残高	3,542	△12,244
自己株式		
前期末残高	—	—
当期変動額	—	—
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
株主資本合計		
前期末残高	98,364	103,542
当期変動額		
新株の発行	—	—
当期純利益	5,178	△15,786
当期変動額合計	5,178	△15,786
当期末残高	103,542	87,756

評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	—	—
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
土地再評価差額金		
前期末残高	—	—
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
評価・換算差額等合計		
前期末残高	—	—
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
純資産合計		
前期末残高	98,364	103,542
当期変動額		
新株の発行	—	—
当期純利益	5,178	△15,786
当期変動額合計	5,178	△15,786
当期末残高	103,542	87,756

注記事項

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：法人税法の規定による定率法

無形固定資産：法人税法の規定による定額法

2. その他の計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 2,401 千円

III. キャッシュ・フロー計算書に関する注記

現金および現金同等物の範囲は、預貯金です。

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の数は、2,000 株です。

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 1株当たりの純資産額は、43,877 円 96 銭です。

2. 1株当たりの当期純利益の額は、△7,893 円 26 銭です。

VI. その他

1. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

2. 保険金の支払い能力の充実の状況（ソルベンシー・マージン比率）

（単位：千円）

	平成 21 年度	平成 22 年度
(1) ソルベンシー・マージン総額	103,554	90,477
① 純資産の部合計（社外流出予定額、評価・換算差額等及び繰延資産を除く。）	103,542	87,755
② 価格変動準備金	—	—
③ 異常危険準備金	11	2,721
④ 一般貸倒引当金	—	—
⑤ その他有価証券の評価差額（税効果控除前）（99%又は100%）	—	—
⑥ 土地含み損益（85%又は100%）	—	—
⑦ 契約者配当準備金の一部（除、翌期配当所要額）	—	—
⑧ 将来利益	—	—
⑨ 税効果相当額	—	—
⑩ 負債性資本調達手段等	—	—
告示(第14号)第2条第3項第5号イに掲げるもの(⑩(a))	—	—
告示(第14号)第2条第3項第5号ロに掲げるもの(⑩(b))	—	—
⑪ 控除項目（－）	—	—
(2) リスクの合計額 $\sqrt{[R_1^2+R_2^2]}+R_3+R_4$	717	2,904
保険リスク相当額	11	2,721
R1 一般保険リスク相当額	11	2,721
R4 巨大災害リスク相当額	—	—
R2 資産運用リスク相当額	702	670
価格変動等リスク相当額	—	—
信用リスク相当額	702	670
子会社等リスク相当額	—	—
再保険リスク相当額	—	—
再保険回収リスク相当額	—	—
R3 経営管理リスク相当額	14	101
ソルベンシー・マージン比率 (1)/ {(1/2)×(2)}	28,883.2%	6,230.8%

3. 有価証券または金銭信託の取得価額または契約価額、時価および評価損益
 - (1) 国債
該当事項はありません。
 - (2) 金銭信託
該当事項はありません。

4. 公衆の縦覧に供する書類に関する会計監査人の監査の有無
当社は会計監査人の監査は受けておりません。

5. 計算書類に関する会計監査人の監査証明の有無
金融商品取引法第 193 条の 2 の規定に基づく公認会計士または監査法人の
監査は受けておりません。